

# 開発・設計現場で使える サステナビリティ実践方法 習得セミナー

**開催日時** 2025年 7月 4日(金) 各回とも  
2025年 9月 3日(水) 10:00～17:00

**定員** 25名  
(定員になり次第締め切らせていただきます。)

**会場** 日本能率協会 研修室(東京都 港区 芝公園)

**講師** 野元 伸一郎 氏  
みらい株式会社  
シニアディレクター



**対象** ・開発設計部門のマネジャー、担当者  
・生産技術部門のマネジャー、担当者  
・品質保証部門のマネジャー、担当者 等

**参加料(税込)** 法人会員： 55,000円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。  
会員外： 66,000円/1名 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)  
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>  
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

元、(株)日本能率協会コンサルティング グローバル開発革新センター長、シニア・コンサルタント。知識工学博士、経営工学修士。  
専門はR&Dプロセス革新、プロジェクト・マネジメント、ナレッジマネジメント、ASEANビジネス革新等。  
前職ではR&Dマネジメント革新及び日本能率協会グループのASEANビジネスを拡大すべく、活動。現在も民間企業、自治体、大学、大学院、高校等で多数のコンサルティング、研修、講演を行っている。  
また、タイ、ミャンマー等のASEAN諸国にて、日系だけでなく、ローカル企業のコンサルティング、研修にも従事している。  
2021年4月より、株式会社kiip&napエグゼグティブコンサルタント兼任(AI/IoTソリューション等)

こんなことにお困りの方は是非、ご参加ください。

- 顧客、トップからサステナビリティ/環境配慮製品の上市、設計を求められているが、どのように進めてよいかわからない
- サステナビリティ対応の品質保証体系/品質マネジメントシステム構築の必要性はわかっているが、どのように作成したら良いかわからない
- 環境配慮設計(従来から省エネや安全配慮、設計段階における3R(リデュース、リユース、リサイクル)等
- 開発中の製品、製造や製品使用による温室効果ガス排出量を削減できない
- 「カーボンニュートラル実現に向けて、何から取り組めばよいのか分からない」
- 「開発中の製品、製造や製品使用による温室効果ガス排出量を削減していきたい」 等

## ■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

### 1 サステナビリティ製品の 開発設計に求められること

- 既存製品の素材・設計の見直しポイント(環境配慮設計等)
- 新製品の素材・設計の見直しポイント(環境配慮設計等)
- コストとサステナビリティとのトレードオフの考え方
- ケーススタディ

### 2 サステナビリティとは

- (1)サステナビリティとは
- (2)カーボンニュートラルとは
- (3)SDGsとは
- (4)サーキュラーエコノミーとは
- (5)脱プラスチックとは
- (6)攻めのサステナビリティの実現
- (7)ケーススタディ

### 3 サステナビリティ設計推進の6つのポイント

- (1)サステナビリティ中計立案と  
商品・技術ロードマップ整備

- (2)サステナビリティ対応技術の先行開発と調達
- (3)サステナビリティを実現するための  
開発計画とコンカレント
- (4)サステナビリティ技術調達
- (5)サステナビリティ品質保証体系整備と成果の定量化
- (6)サステナビリティ設計を支援する  
開発プラットフォームの整備

### 4 サステナビリティに対応できる 人材育成とスキルマップ戦略

### 5 ケーススタディ～サステナビリティ 対応開発プロセス革新

### 6 サステナビリティ製品を実現するための 各組織のミッション見直し

### 7 まとめ

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

